

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成26年9月30日)	前連結会計年度 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産	6,295,653	4,827,639
固定資産	3,056,005	2,935,158
有形固定資産	2,812,215	2,754,922
無形固定資産	29,110	25,473
投資その他の資産	214,678	154,761
資産合計	9,351,658	7,762,797
負債の部		
流動負債	4,766,423	3,798,911
固定負債	855,271	877,767
負債合計	5,621,694	4,676,679
純資産の部		
株主資本	3,695,106	3,063,420
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	2,782,629	2,150,869
自己株式	△109,903	△109,829
その他の包括利益累計額	34,857	22,697
その他有価証券評価差額金	34,048	18,953
為替換算調整勘定	808	3,743
純資産合計	3,729,963	3,086,117
負債純資産合計	9,351,658	7,762,797

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで	前連結会計年度 平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで
売上高	7,863,590	6,119,313
売上原価	4,769,736	3,847,979
売上総利益	3,093,853	2,271,333
販売費及び一般管理費	1,905,113	1,623,866
営業利益	1,188,739	647,466
営業外収益	84,482	107,930
営業外費用	28,708	29,001
経常利益	1,244,513	726,395
特別損失	45,465	4,906
税金等調整前当期純利益	1,199,048	721,488
法人税、住民税及び事業税	509,895	297,790
法人税等調整額	△24,325	△25,179
少数株主損益調整前当期純利益	713,478	448,877
当期純利益	713,478	448,877

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 平成25年10月1日から 平成26年9月30日まで	前連結会計年度 平成24年10月1日から 平成25年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	463,003	261,275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△313,474	△170,399
財務活動によるキャッシュ・フロー	203,071	57,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,198	41,725
現金及び現金同等物の増減額	375,799	189,629
現金及び現金同等物の期首残高	1,111,550	921,920
現金及び現金同等物の期末残高	1,487,349	1,111,550

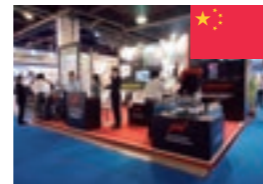
展示会出展のご報告

当社は世界各地で開催される展示会へ積極的に出展しております。今年、3月にチェンナイ（インド）、6月にステュットガルト（ドイツ）、9月に上海（中国）、10月にデトロイト（アメリカ）で開催された「Automotive Testing Expo 2014」に出展致しました。

インドは今回が初出展でありましたが、大型の振動試験装置を現地に海上搬送し実際に運転することで、予想以上の反響やお問い合わせをいただき大成功に終わらせることができました。

展示会への出展は当社の製品を数多くのご来場者様へアピールできるだけでなく、コミュニケーションを図る絶好の機会ともなります。

3度目になるドイツでは、欧州でのIMVの知名度が上がってきていると感じ、今後の海外事業において益々の発展を期待できると確信いたしました。



株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 12月中

定時株主総会の基準日 9月30日

配当金受領株主確定日 期末配当金 9月30日
中間配当を行う場合は 3月31日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
☎ 0120-782-031（フリーダイヤル）
取扱事務は三井住友信託銀行株式会社の
全国各支店で行っております。

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ市場
(証券コード：7760)公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によ
って電子公告による公告をすることが
できない場合は、日本経済新聞に掲載し
て行います。
公告掲載URL <http://www.imv.co.jp/>

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されまし
た株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀
行株式会社にお申出ください。

■未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出
ください。

第68期報告書

IMV通信

平成25年10月1日 ▶ 平成26年9月30日

SECURE THE FUTURE
FIRST choice
for our partners

Future
Integrity
Reliability
Strength
Technology

IMV CORPORATION



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。

IMV 株式会社
(証券コード：7760)

Top Message トップメッセージ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第68期（平成25年10月1日から平成26年9月30日まで）IMV通信をお届けいたします。

平成26年12月

代表取締役社長 周本 三朗

当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動があったものの、企業による設備の維持・更新やエネルギー効率や生産効率を高めるための設備投資や雇用情勢に改善が見られたことにより、緩やかな回復基調が続いております。

このような環境の中、当社グループは、イギリス、ドイツをはじめとした欧州諸国において、振動シミュレーションシステムの販売活動のさらなる強化に取り組んでまいりました。また、新たな技術の開発につきましては、当社の主力製品であるiシリーズの後継機として「新型振動シミュレーションシステムAシリーズ」、及び高精度・多用途向け3軸加速度センサーモジュールを搭載し

た「小型高性能振動計測装置」を開発いたしました。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステム及びテスト&ソリューションサービスにおいて、自動車関連業界・航空宇宙関連業界を中心に順調に売上が推移し、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は7,863百万円となり、前連結会計年度と比べ1,744百万円の増収(対前年同期比28.5%増)となりました。利益面では増収効果により経常利益は1,244百万円となり前連結会計年度と比べ518百万円の増益(対前年同期比71.3%増)となり、当期純利益は713百万円となり前連結会計年度と比べ264百万円の増益(対前年同期比58.9%増)となりました。

次期の見通しにつきましては、緩やかな景気の回復は継続するものと期待されますが、来年10月に予定される消費税引き上げの影響や新興国経済の減速等、先行きの不透明さが予想される状況であります。このような状況の中、当社グループは、振動シミュレーションシステムにおいては、海外及び多軸等の大型案件の受注が増加しつつあり、売上は順調に推移する予定であります。また、「新型振動シミュレーションシステムAシリーズ」の販売強化に取り組んでまいります。メジャリングシステムにおいては、地震監視装置の海外への販路拡大活動を引き続き行いま

す。テスト&ソリューションサービスにおいては、顧客ニーズに対応した大型加振機等の設備導入が、売上に貢献する予定であります。一方で、海外事業への取り組みを行うため人員増加、設備・研究開発の積極的な投資、テスト&ソリューションサービスの設備増強に伴う減価償却費の増加等、今後の成長に不可欠な事業投資を積極的に行うための費用増加を見込んでおります。

以上により、売上高につきましては8,300百万円(前期比5.5%増)、経常利益1,300百万円(前期比4.5%増)、当期純利益780百万円(前期比9.3%増)を見込んでおります。

次期の見通し

Segment Information

品目別の概況

振動を計測するメジャリングシステム
連結売上高 **8億6,000万円**

(前年同期比9.8%減、売上構成比10.9%)

中国・台湾へ地震監視装置及びベトナムへ振動計測装置の販売を行う等、販路拡大に向けた活動を行いました。



地震計測装置

カードパイプロAir2

振動を再現する振動シミュレーションシステム
連結売上高 **56億7,800万円**

(前年同期比38.2%増、売上構成比72.2%)

自動車関連業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステム及び「エコシェーカー」(省エネ型振動シミュレーションシステム)の売上が増加しました。また、航空宇宙関連業界において大型案件の売上を計上したこと等により、前年同期を上回る結果となりました。



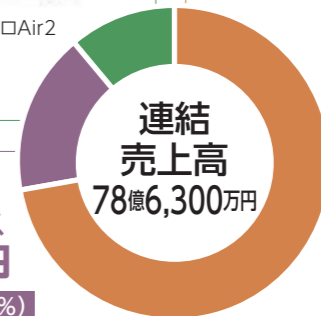
Aシリーズ
(ニュータイプ振動シミュレーションシステム)



エコシェーカー



複合環境シミュレーションシステム

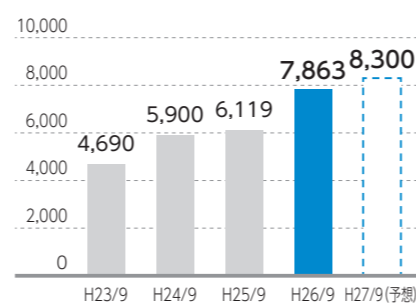


連結
売上高
78億6,300万円

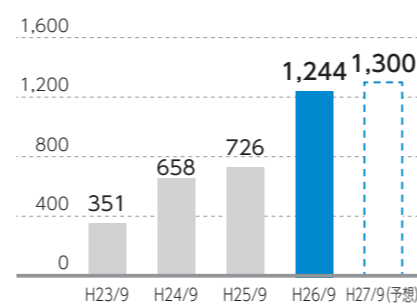
Highlights

ハイライト

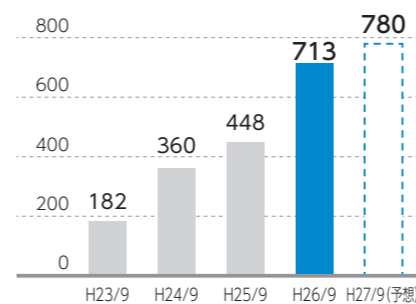
連結売上高 (単位：百万円)



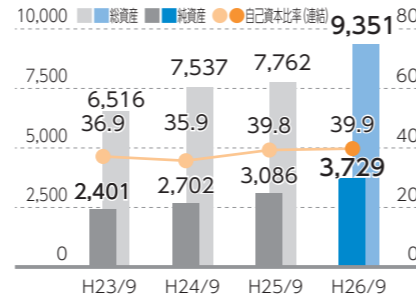
連結経常利益 (単位：百万円)



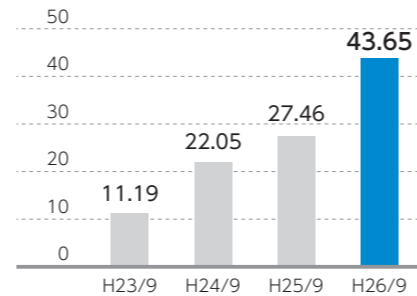
連結当期純利益 (単位：百万円)



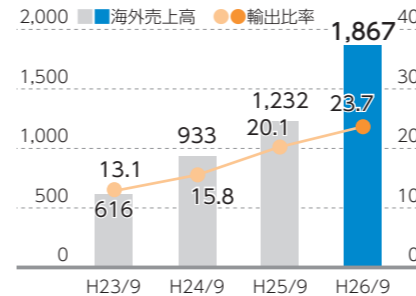
総資産／純資産／自己資本比率(連結)
(単位：百万円) (単位：%)



1株当たり当期純利益(連結)
(単位：円)



連結海外売上高／輸出比率(連結)
(単位：百万円) (単位：%)



振動問題を解決する
テスト&ソリューションサービス
連結売上高 **13億2,400万円**

(前年同期比25.3%増、売上構成比16.8%)

大型試験機の受託試験、鉄道車両用機器向けの試験や自動車関連業界のHV・EV関連等の試験が引き続き好調でありました。



鉄道車両用テストラボ設備



大型耐震試験式振動試験設備